

平成27年度
群馬県立県民健康科学大学 看護学部
推薦入学試験問題

小 論 文

群馬県立県民健康科学大学

小論文試験問題 一

次の文章を読んで、各問に答えなさい。

田んぼは私

¹変な社会を我々はつくつてきてしまった。そう感じるが増えました。

本来、自然と共生できる文化、「個人」なんてなくてもいい社会を私たちは持っていたはずでした。それが、
どんどんおかしな方向に進んでしまいました。

かつては言わなくてもわかっていたことが、今では言っても伝わらないようになった。

学生を田んぼに連れて行った際に、

「あの田んぼはお前だろう」

と私は言います。

すると、相手はぼかんとしています。何を言っているのだ、このじいさんは。

でも、田んぼは私たち自身だ、という考えはおかしなものではありません。田んぼから米ができる。その米を体内に入れて、体をつくっていく。米は体の一部になる。その米を作っている田んぼの土や水、そこに降り注いでいる日光も全部、私になっていくわけです。

もちろん海でも同じことです。魚を食べるということは、海を体内に取り入れていく、ということでしょう。でも、こういうことを子どもに教える大人があまりいません。「あんたはあんた。田んぼは田んぼ。海は海」としか教えないでしょう。

アイヌは「熊送り」という儀式をやります。自分たちが捕獲して、食べたり毛皮を利用したりする熊を神様の化身と考えて、熊の頭蓋骨を掲げて、再び神の国へと送る儀式です。こういうものを、今の人たちは「原始的だ」と思うことでしょうか。

でも、そう思う人とアイヌとで、どちらがまともなんでしょうか。生物の本質を捉えているのはアイヌのほうがではないでしょうか。

春先になると、スギ花粉のせいで私は花粉症の症状が出て苦しみます。全国どこの山もスギばかり植えたから、こうなってしまった。なぜ同じ木ばかり植えたのか、もっと自然に合わせたことができただろうに、と言えば、答えは決まっています。

「それでは経済効率が悪い」

おおよそこういうことを言ってくるわけです。多様性が大切だとか、そういう議論をすると、「それでは経済が成り立たない」となる。そういう言い方をしなくても、背景にあるのはその手の思考です。

しかし、²「経済が成り立たない」で思考停止してはいけないのです。

養老孟司著 「自分」の壁 (新潮新書 六二―六四頁 二〇一四年)

問一 傍線1変な社会とは、どのような社会か。四〇字以内で述べなさい。

問二 傍線2「経済が成り立たない」で思考停止してはいけないについて、本文の内容をふまえ、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

次の英文を読んで各問に日本語で答えなさい。

According to various studies examining mind-over-matter attitudes in medical patients, even those struggling against the most malignant illnesses such as cancer and HIV, refusing to accept the situation as hopeless can increase chances of survival and reduce the chance of relapse, or at least postpone death. For example, in one study at Royal Marsden Hospital in the United Kingdom—the first hospital in the world to be dedicated solely to the study and treatment of cancer—breast cancer patients who scored higher on helplessness and hopelessness had a significantly increased risk of relapse or death within five years as compared to members of the study who scored lower on those measures. Numerous studies also found this to be the case for patients with HIV in the years before effective treatments were available; those who reported more feelings of helplessness were more likely to progress from HIV to full-blown AIDS, and died more quickly after developing AIDS. Is it really possible that the way someone thinks about their illness can directly affect their physical well-being?

出典 : Iyengar, Sheena. (2010): *The Art of Choosing*, p.18, New York: TWELVE

問1 本文の内容を要約しなさい。(横書き・200字以内)

問2 著者が示した下線部の疑問に対するあなたの意見を述べなさい。

(横書き・200字以内)

群馬県立県民健康科学大学
看護学部看護学科
平成27年度 推薦入学試験
小論文試験問題2 解答用紙

受験番号	氏名

問1

100字

200字

群馬県立県民健康科学大学
看護学部看護学科
平成27年度 推薦入学試験
小論文試験問題2 解答用紙

受験番号	氏名

問2

100字

200字

得点

注 意 事 項

- 1 問題用紙は表紙を含めて3枚、解答用紙3枚、下書き用紙2枚、裏表紙（注意事項記載）1枚です。
- 2 解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。下書き用紙に解答を記入しても、採点の対象とはしません。また、解答用紙の「得点欄」には何も記入しないでください。
- 4 問題用紙・解答用紙に印刷不鮮明や汚れ等がある場合は、無言のまま手をあげて、監督員の指示に従ってください。
- 5 試験中に質問や用便等の用件がある場合も、無言のまま手をあげて監督員の指示に従ってください。
- 6 試験開始後、30分間は途中退室を認めません。
30分経過後、途中退室する場合は、監督員の指示に従い、解答用紙を監督員に提出したのち退室してください。
- 7 問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- 8 不正行為や、他の受験者に迷惑となる行為を行った場合は、失格とすることがあります。